

平成二十二年度 小論文試験問題

受験番号
氏名

次の文章を読み、問いに答えなさい。

日本人のあまり目立たぬ宗教的感性に關することで非常に重要な一面が存することについて論じてみる。但しその話をするために、しばらく宗教の話はお預けにして、現在われわれの眼前で起きている一つの社会事象に眼を向けてみよう。

それは、現代は人権を何よりも重視し、平等を殊更重んずるということから起きている現象であるが、差別用語を廃しようという運動のことである。私として人権を重んずることも差別を嫌うことでも④人後に落ちないつもりだが、この一定のコトバを差別用語として①ホウチクしようとする運動は好きにならない。その理由としてはいくつか挙げられるが、まず第一に、これらのコトバはいずれも昔からの固有の日本語であるという事実である。第二に、コトバを制限するということが結局は表現の自由を奪うことになりはしないかという危惧である。第三に、差別というものは本来心の中にあるもので、コトバ自体の中にあるものではないという点である。もちろんコトバが差別を表現するために使用されることはあるが、しかしそれはあくまで使い方の問題であり、コトバをなくしたからといって差別がなくなるわけではない。したがっていわゆる差別用語を廃したからとて、それはいわば差別を棚上げしたに留まり、差別が心の中に存する限りは、それはまた別の仕方で表現されるにちがいないのである。

この差別用語反対の運動は、日本に從來から存した忌みコトバの伝統に則したものではないかと思われる。忌みコトバについてはここで説明するまでもないが、要するに不吉や汚れを直接に示すコトバを殊更に避けることである。最も②「忌み」を例に挙げれば、昔は「忌み」と言っていたものを、便所、はばかり、御不浄、お手洗、この頃はトイレと言いつつ換えて来たのも忌みコトバ故に起きた現象にちがいない。そして差別用語反対は忌みコトバの伝統に則していると私が言うとき、右に挙げた例が示すようにそれが単に言い換えに終りはしないかという危惧をのべているのである。

もちろんだからといって「忌む」ということが無意味で馬鹿らしいことだときめつけるつもりはない。むしろ「忌む」ということは自然な人間の反応である。そればかりか実はそれが宗教心とつながる現象であると見ることさえできる。少なくともそれと密接な関係があると思われるので、次にそのことをのべてみよう。それは「忌む」ことは「斎む」ことであるという理解である。「忌む」ことは不浄を嫌い避けて自らを浄の状態に保つことであるが、「斎む」ことは神事（浄）に対して自らを慎むことである。「忌み」は「斎（い）み」が転落したものであるという考え方があがるが、極めて④含蓄に富んだ理解であると思う。なぜなら「斎み」の場合は神前にあつて自らを慎むのであるが、「忌み」の場合は単に呪術的に自分だけが浄くなるとうとするだけだからである。恐らく「忌み」は死の③キョウフと結びついているのである。すなわち前者が本来の宗教心の現れとするならば、後者は⑥に類することになる。またここで問題とされている浄・不浄の觀念が西洋でキリスト教の影響下に発達した聖・俗の觀念に④ソウオウすることにも注目すべきである。

キリスト教で問題とされる聖の觀念は、「斎み」と結びつけて考えると非常に納得がいく。聖書の中に、イスラエル建国の祖といふべきモーセに神が⑤トツジヨ顯現したとき、「ここに近付いてはならない、足から履物を脱ぎなさい、あなたの立つている場所は聖なる土地だから」と告げたとき書いた書である。これはまさに④を命じられたことになるではないか。要するに聖なるものとは、その前に出た人間がおのずと身をかがめ慎まずにはおれないもの、すなわち斎（いつ）き奉るものをさして言うのである。

現代人の不幸は聖とするものがなくなっていることではないか。ヒューマニズムがすべてであり、それを超えるものが何一つとしてない。何も聖とするものがないから、人間がのさばって勝手気ままをする。そして言葉狩りをする。で何か立派なことでもしたような気になっている。もし人類が直ちに滅びることなく、二十一世紀にも生きのびて栄えようとするならば、人間がそれこそ人間らしく生きるために、⑥人間を超える何者かを尊ぶことをいまだ一度学ばねばならぬのではなからうか。そしてそのためには以上見て来た「忌」とく日本人の素朴な宗教的感性「斎み」がどうしても生活の前面に出て来なければならぬだろうと私は信じているのである。

土居健郎 『続・甘えの構造』(抄)

問一 本文中の①から⑥の語句を漢字で書きなさい。

問二 傍線部④「人後に落ちない」とはどういう意味か。15字以内で書きなさい。

問三 傍線部⑤「含蓄」の意味を15字以内で書きなさい。

問四 ③にあてはまる言葉として最も適切なものを一つ選び、その数字を書きなさい。

- ①信仰 ②妄想 ③迷信 ④風俗 ⑤伝承

問五 ④にあてはまる言葉として最も適切なものを一つ選び、その数字を書きなさい。

- ①謹慎 ②差別 ③浄化 ④斎み ⑤忌み

問六 傍線部⑥「人間を超える何者かを尊ぶこと」がなぜ必要であるのか、著者の考えを350字以上400字以内でまとめなさい。

